

令和7年度 第2回 大阪市立井高野小学校 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立井高野小学校

校園長名 小川 加奈

日 時		令和 7 年 1 1 月 2 6 日（水）	
場 所		井高野小学校 多目的室	
出席者	委員 など	7 名	
	校 園	3 名	
	区役所	1 名	
議 題		○「令和 7 年度運営に関する計画（中間評価）」について ○令和 7 年度 全国学力・学習状況調査 結果について	
協議 要旨	協議の結果		意見の概要
	運営に関する計画（中間評価）について理解を得ることができた。		○他の子どもの意見を聞いて論破するのではなく、相手の考えを聞いて、気持ちをを受け止める姿勢が大切だと思う。 ○周りの家族を見ていて、各々がスマホやゲーム機に触っている時間が多く、家庭内での会話が昔と比べて少なくなっていると感じる。デジタルデトックスができないものか。 ○併せて、本を読んでいる姿をほぼ見かけない。興味・関心を高めたり、きっかけとしてマンガもありだと思っている。小さい頃の読み聞かせなどの家庭への啓発は必要。 ○本校の児童は、自己肯定感が低い傾向がある。他者から必要にされていると感じる経験や今の自分でいいんだと思えるような機会が必要。親が、地域の人が、周りの人ができたことへの賛辞をたくさんしていきましょう。
	令和 7 年度 全国学力・学習状況調査 結果について理解を得ることができた。		○地域や社会をよくするために何かしてみたいの質問に肯定的な回答する児童の割合が市・全国平均を上回っており、自身が誰かのためになることに喜びを感じる児童が多いことが分かった。 ○一方で、自己肯定感が市・全国と比べて低い傾向が見られたり、家庭での学習の時間が 3 0 分よりも少ない、全くしていないと答える児童

			が5割近くなっていることが大きな課題であることが分かった。地域や家庭への声かけ、啓発をより多くしていく。
協議 資料	○「令和7年度運営に関する計画（中間評価）」 ○令和7年度 全国学力・学習状況調査 結果		
備考	傍聴者[0]名		
	オブザーバー [0] 名		